

第七十三回 昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ 特別委員會議事速記録第四號

帝國議會 貴族院 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十三年三月二日(水曜日)午前十時十四分開會

○委員長(公爵山縣有道君) ソレデハ會議

ヲ開キマス、前回ニ引續キマシテ御質疑ナリ御意見ノ御發議ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 商工大臣ニ伺ヒマス

ガ、此ノ前大藏大臣ニ伺ヒマシタ所ニ依リマスルト、年ニ百億位ノ公債ヲ募集スルコトハ差支ヘナイ、但シボンヤリシテ放ツテ置

イタノヂヤソソナコトハ出來ナイ、色々ナソコニハ苦心モ要ルシ、畫策モ要ル、非常ナ

難事業デアルト、斯ウ云フ御話ダツタ、ソレヂヤソソレハドウ云フコトヲナサル御積リナ

ノカト言ツテ伺ツタ處ガ、ソレハ商工大臣ニ尋ネテ呉レト、斯ウ云フ御話デゴザイマ

シタ、ソレデ甚ダ御忙シイ所ニ恐縮デゴザイマシタガ、商工大臣ノ御出デラ願ツタ譯デ

ス、ソレニ付キマシテ商工大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ止メテ

午前十時十六分速記中止

午前十時四十五分速記開始

○委員長(公爵山縣有道君) 速記始メテ

○子爵大河内輝耕君 色々細カイ點迄有難

ウゴザイマシタ、此ノ外ニ何デスカ、輸入ノ制限ヲ矢張りオヤリニナルコトモ必要デ

アラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ、差支ナケレバ斯ウ云フ物ハ此

ノ位ノ數字、斯ウ云フ物ハ此ノ位ノ數字ト云フノデ、主要ナ物ダケデモ標準ヲ示シテ

下サルト能ク理解出來マスルガ…… ○國務大臣(吉野信次君) 輸入ノ制限ニ付

キマシテハ、先ヅ第一ニ商工省ト致シマシテ、國家ノ必要カラ見テ、比較的不要不怠

ト思ハレル物ヲ輸入ノ許可制度ニシマシテ、之ガ二百七十品種餘ノ物デゴザイマス、サ

ウシテ之ヲ原則トシテ止メル積リデ居リマス、許可ト云フコトニナツテ居リマスケレド

モ、許可ガ來マシテモ是ハ許サナイト云フ建前デヤリタイト思ツテ居リマス、細カイコ

トラ申シマス、中ニハソソレヲ輸出スル先ノ方ガ、ソソレヲ買ツテ呉レナケレバ日本ノ物

ヲ買ハナイゾト云フ求償的ノモノガアリマシテ、金額カラ言ヘバ大シタコトハアリマ

セヌガ、サウ云フ物ハ許スト云フコトニ致シテ居リマス、又其ノ中ニハ輸出品ノ原料ニナル物モアリマス、サウ云フ物ハ許ス、サ

ウ云フ例外ノ物モアリマスガ、大體サウ云フ物ハ止メテ居リマス、是ハ去年出シタモ

ノデ、其ノ後追加シテ居リマスガ、輸出入許可規則乙號、之ニ書イテアル品目ガソレ

ニ當ルト思ヒマス、併シ日本ノ産業ハ大體相當ノ發達ヲ致シテ居リマスカラ、實ハサ

ウ云フモノデヤラナクモ宜イト云フモノデ入レテ居ツタ物ハ金額ニスレバ餘リ澤山ニ

上ツテ居リマセヌ、ダカラソソレヲ全部止メテ見タ所デ國際收支ノ「バランス」ヲ合セルト云

フ見地カラハ大シタ金額ニナツテ居リマセヌカラ、ソレデソレ以上ニヤルト言ヘバ、ド

ウシテモ不要不急品デナイ、産業上ノ見地カラ必要デアルガ、比較的金額ノ纏ツタ物ニ

手ヲ著ケナケレバナラスト云フ結論ニナル、サウ云フ意味デ甲號ト云フ方ニアル棉花ト、

羊毛ト、木材後何か加ヘマシタガ、「バルプ」モ入ツテ居リマス、「ゴム」モアル、確カソソ

ナ程度ト思ヒマス、是ダケノ物ハ是ハ不要不急品デヤナイ、日本ノ産業カラ言ヘバ、

殊ニ商工省ノ立場カラ言ヘバ一品ト雖モ餘

計入レタイモノダケレドモ、國際收支ノ關係デ已ムヲ得ナイト云フノナラバソコデ制限シヨウ、斯ウ云フノデ品目ヲ置キマシテ、

ソソレヲ如何ナル程度ニ制限スルカト云フコトニ付キマシテハ大體ガ其ノ中ニハ羊毛棉

花ノ如クニ輸出ノ原料ニナルモノモゴザイマスカラ、輸出ノ原料ハ無制限ニ入レル建

前ヲ探ツテ居リマス、サウスルト自然國內ノ消費ノ方ニ向ツテ制限スルト云フコトニナツ

テ居リマスカラ、之モ國民ニ此ノ際デアリマスカラ、成ルベク著物ヲ新ラシイモノヲ

作ラナイヤウニト云フ宣傳ヲスルコトモ必要デゴザイマスガ、何分ニモ唯ソレダケデ

ハ十分デゴザイマセヌカラ、純綿布、純毛織物ハサクナルケレドモ、代用品デ我慢シ

ロ、斯ウ云フヤウナ政策ヲ執リマシテ、ソコデ御承知ノ通りニ今綿織物ト毛織物ニ付

キマシテハ、三割以内迄、外ノ人造ノ纖維ヲ交ヘナケレバナラスト云フ、斯ウ云フ規

則ヲ出シマシタノデアリマス、サウシテ代用品ヲ獎勵スル、其ノ時ニ代用品トシテ考

ヘラレマスルモノハ、日本ノ特産品ノ生絲ト云フヤウナモノモゴザイマスケレドモ、

之ハ値段ノ點モゴザイマシテ、十分デナイ

ト思ヒマシテ、サウ云フ目的ヲ達スルニハ、主トシテ新聞デ御承知ノ通り「ステール・ファイバー」ト云フモノヲ使ハシテ參リマス、サウシマスト、「ステール・ファイバー」ノ原料ノ「バルブ」ノ問題ガ直グ出テ參リマスカラ、「バルブ」ノ増産ヲ圖ラナケレバナラスト云フ立場ニナッテ來ル、ソコデ是モ近代ノ技術ノ方ハ、從來ハ「バルブ」ハ御承知ノ通りニ針葉樹デナケレバナラスト、潤葉樹デハ「バルブ」ニハナラナイノダト云フ風ニ思ハレテ居ッタノデアリマシマスガ、技術ノ進歩ニ依ッテ今日デハ潤葉樹デモ宜シイト云フコトニナッテ、國有林デモ東北地方ニモ潤葉樹ガ相當ゴザイマス、北海道ニモ相當ゴザイマスノデ、御承知ノ通り潤葉樹ヲ原料トシテ「バルブ」ヲ新ラシク造ルト云フ企業ヲ、國有林ヲ拂下ゲスルト云フコトデ起サセマシク、是ガ著々進ムト思ヒマス、ソレカラ又段々技術ガ進歩致シマシテ、木材外ノ原料カラ「バルブ」ヲ造ル、例ヘバ滿洲デゴザイマスケレドモ、「豆ノ殼」デアルトカ、「豆其ノモノ」カラ出來ルト云フコトハ、之ハ蛋白デゴザイマスカラ、「丁度「イタリ」」ガ牛乳カラヤッタヤウニ、出來ルコトハ分ッテ居リマスガ、「豆ハ勿體ナイカラ豆ノ殼カラ採ッタラドウカト云フノデ、之デ今一ツ

會社ヲ起サシテ居リマス、ソレカラ能ク耳ニ入ッテ居リマス通りニ滿洲方面ニ葦ミタイナモノ、或ハソレカラ東北デヤッテ居リマスカラ、臺灣ノ物ガサウデスカラ、「イチビ」トカ何トカ云フ、葦ミタイナ一年生ノ草ガゴザイマス、サウ云フモノデヤッテ居リマス、或ハ「イチビ」ト云フヤウナ、サウ云フヤウナ新ラシイ「バルブ」ノ纖維原料ト云フモノガ段々出來テ參ルダラウト思ヒマス、サウシテ、今後數年ヲ期シマシテ「バルブ」ハ自給自足ガ出來ルヤウナ方策デ進ミタイト思ヒマスカラ、取敢ズ十三年度ト致シマシテハ、幾ラカ「バルブ」ノ増産ヲ致シマシテ「バルブ」其ノモノノ輸入モ何千萬圓ト云フモノヲ節約スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、「バルブ」其ノ物ノ輸入ガ何千萬圓節約スルト云フコトハ、ソレデ以テ代用品トシテ棉花羊毛ノ方ニ振向ケル譯デアリマスカラ、從ッテ「バルブ」其ノモノノ輸入ガ減ルト同時ニ、棉花ト羊毛モ、其ノ限度ニ於テ輸入ガ減ル譯デゴザイマスカラ、計算致シマスト、譬デゴザイマスカラ、「バルブ」デ二千萬圓節約ガ出來マスト、アトノ二千萬圓ハ棉花羊毛ノ節約ガ出來ルト云フ次第ニナル譯デゴザイマス、十三年度ノ「バルブ」ノ増産ノ金額ヲ倍ニ致シマスレバ、國際收支ハソ

レダケ助カルト、斯ウ御承知ヲ願ヘレバ宜シイト思ヒマス
○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ止メテ……
午前十時五十分速記中止
午前十一時十一分速記開始
○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ……
○子爵大河内輝耕君 御話ニナッタコトハナカク、困難ナ仕事デ、殊ニ是ハ唯イケナイトカ、宜イトカ云フ法規一片ノ仕事デナクテ、ソコノ手續ガ非常ニ御面倒ダラウト思ヒマス、實際ニ御扱ニナルコトハ餘程厄介ナモノダト思ヒマスガ、其ノ點ハ誠ニ當局者ノ御苦心ヲ御察シスル譯デアリマス、是非一ツ成功シテ出來ルダケ目的ニ副フヤウニヤッテ戴キタイト存ジマス、私ノ質問ハ大體能ク了解ガ出來マシタカラシテ、私ハ是デ止メテ置キマス
○土方久徵君 丁度商工大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、今大河内子爵ノ御質問ニ關聯致シマシテ唯一言ダケ伺ッテ置キタイ、鑛物殊ニ金ダトカ、銀、銅其ノ他先程モチヨットソレニ御觸レニナリマシタガ、ナカク各地ニマダ鑛トシテハ澤山アルヤウニ承知シテ居ル、私共門外漢デアリマスガ、聞イテ居ル、此ノ處理ハ或ハ鑛石ノ運輸關係

モウ一ツハ精鍊關係、之ニ途方モナイ費用ガ要ルノデ、其ノ近所ニ精鍊所ガアリマスレバ或ハ相當ニ鑛業的ニ之ガ確保ガ出來ルト云フヤウナモノガ相當アリハセヌカト思フ、平時ナラバ是ハ民間ノ資力ニ適應シテヤラシテ置イテモ宜イカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ事變ノ際、殊ニ最モ必要ナモノデアル部分ニ付テハ國トシテ或ハ其ノ附近ニ精鍊所ヲ、一ツ國營ノ精鍊所ヲ造ッテ、其處ニ所有主ハ銘々出來マセウガ、各貧鑛所有者ノモノヲ其處ヘ集メテ之ヲ精鍊ラシテヤルト云フヤウナコトモチヨット素人考デスガ、考ヘラレヌコトハナイノデスカラ、サウ云フコトニ付テ何カ豫テノ御研究ガアリハセヌカト思ヒマスデスカラ、ソレヲ關聯シテ一應承ッテ置キマス
○國務大臣(吉野信次君) 御尤デゴザイマシテ、金ニ付キマシテハ今度會社ヲ造リマシテ半官半民デ貧鑛處理ノ爲ニ十箇所バカリ精鍊所ヲ設ケル積リデアリマス、ソレカラ外ノ方ニ付キマシテハ、マア鐵ナンカニ付キマシテモ品位ノ惡イ物ハナカクアルノデアリマス、私モ氣ガ付イテ居ルノデスケレドモ、「ドイツ」ナンカデハ御承知ノ通り低品位ノモノヲ一定數量ヲ法律ヲ以テ必ズ使用ヲ強制シテ居ル、ソレダカラ低品位

ノ方ノ貧鑛ヲ使フ方ノ色々ナ有益ナ發明ガ「ドイツ」デハ必要上産レル譯デアリマス、私ハ矢張り日本デモサウ云フコトモ必要チヤナイカト思ッテ居リマスノデスケレドモ、唯、今日ハサウシマスト生産者ガ少クナラシナイカト思ヒマス、「トシ」デモ餘計物ヲ使ハナケレバナラヌ時勢ナモノデアリマスカラ、今日行フコトハ時機「デナイト」思ッテ居リマスガ、併シ日鐵ニ關スル限リハ政府ノ監督ノ會社デアリマスカラ、貧鑛デモ買へ、貧鑛デモ使ヘト云フ命令ヲ法律ニ依リマシテ出シテ居リマス、ソレカラ其ノ他ノ物ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタ通り「ニッケル」デアリマスカ、水銀デアリマスカ、低品位ノモノハ相當アルノデアリマス、之ヲ一ツ開發シタイト思ッテ居リマス、其ノ爲ニ不足鑛物、サウ云ッタヤウナ日本デ不足スル貧鑛、不足ノ物ノ獎勵金ト云フヤウナモノヲ今出シテ居リマスガ、是ハモウ少シ金モ出シマスガ、御話ノ通りニ何カ、國營ト申シマスガ、或ハ國營迄行カナクテモ現在ノ業者ト云フモノノ聯合デ以テ何カ國策的ノ精鍊ノ組織ヲ考ヘルト云フコトガドウモ必要チヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シマダ其ノ方ノ具體的ノ事迄ハ話ガ出テ居リマセヌ、銅ニ付テハ現ニ外國カラ銅ノ

鑛石ヲ入レテヤルト云フコトハ産銅業者ト云フモノガ話合ヲ致シマシテ今盛ニヤッテ居ル譯デアリマス、何カサウ云フ方法デ精鍊ニ付キマシテハモウ少シ御話ノヤウナ趣旨デモツ進シダ考方ヲ致ス必要ガアラウト思ヒマス

○土方久徵君 了承致シマシタ

○委員長(公爵山縣有道君) 商工大臣ハ衆議院ノ委員會ニオイデニナリマスノデ御退席ニナリマス

○遠藤柳作君 滿洲關係ノ事デ伺ヒタイト

思ヒマスガ、第一ニ滿洲産業五箇年計畫現況ニ付キマシテ一應ノ御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(原邦道君) 御答ヘ致シマス、

滿洲ノ産業五箇年計畫ト致シマシテハ、昨年カラ實行シテ參ッテ居リマスノデアリマスガ、大體順調ニ進捗致シテ居リマス、其ノ主ナルモノハ鐵デアリマス、鐵ハ大體昭和製鋼所ノ第三期第四期ノ増産計畫ヲ樹テマシテ、其ノ計畫ノ準備ハ漸次整ヘマシテ本年ノ十月カラ全部三期、四期ノ増産計畫ヲ實施スルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ石炭ノ五箇年計畫デアリマスガ、之ハ大體此ノ撫順炭鑛ハ殆ド開發ノ何ノト申シマスガ、完成ニ近イヤウナ事情ニナッテ

居リマス、主トシテ滿洲ノ石炭ニ付キマシテハ、撫順炭以外ノ只今滿洲炭鑛株式會社ガヤッテ居リマスル炭鑛ヲ主トシテ開發スルト云フ建前ヲ取リマシテ、増産ヲ計畫シテ居ルノデアリマス、第一年度ニ於キマシテ此ノ石炭ノ産額ハ初メ豫定致シテ居リマシタ程期ノ通りニナッテ參ッテ居リマセヌガ、元々昨年ガ第一年度デゴザイマシテ、各地ノ探鑛等ニ時日ヲ取リマシタ結果當初ノ第一年度ノ生産量トシテハ不十分デアリマシタケレドモ、本年カラ十分ナル計畫ヲ實行スルコトニナリマシテ是亦増産計畫ハ結局出來ル見込デアリマス、又最近最モ重要ニナリマシタ液體燃料ノコトデアリマシタガ、是モ撫順ニ其ノ石炭液化ノ工場ヲ建テマシテ是ガ十四年度ニ完成スルコトニナッテ居リマス、是ハ今工事中デアリマシテ、十四年度カラ生産ヲ開始スルコトニナッテ居リマス、ソレカラ四平街ニ滿洲油化工業株式會社ト云フモノヲ一昨年設立致シマシタガ、昨年ノ末ニ増資致シマシテ、規模ヲ大キク致シマシタ、是モ十四年ニ始メテ生産ガ出來ルノデアリマス、「ガソリン」ヲ生産スルコトニナッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ阜新ニ矢張り石炭液化ノ工場ヲ昨年計畫致シマシタ、是ガ目下工事中デアリマシ

テ、十五年ニ完成スルコトニナッテ居リマス、何分工事中ノ設備及ビ機械等ノ準備ニ時日ヲ要シマシテ、一番早クテ十四年度カラ石炭ノ液化ノ生産ガ出來ルコトニナッテ居リマス、ソレカラ「バルブ」ノ問題デアリマスガ、是ハ今商工大臣カラ御話ニナリマシタヤウニ、現在ノ四種アリマス「バルブ」會社デ造ッテ居リマスガ、是モ増産計畫ヲ立テマシテ、今ハ漸次生産ヲ殖シマス、ソレカラ葦デアルトカ、豆殻カラ「バルブ」ヲ造ル計畫、是亦相當完成後ニハ生産ヲスル豫定ニナッテ居リマス、尙電氣ノ問題デアリマス、是モ亦滿洲ノ産業五箇年計畫ノ大キナ部門ニナッテ居リマスガ、電氣ハ松花江ニ國營ノ水力發電所ヲ作りマシタ、是ハ工事を開始シテ居リマスカラ近ク是ハ竣工スルコトニナッテ居リマス、其ノ外ニ御承知ノ鴨綠江水力電氣モ目下ヤッテ居リマス、ソレニ依リマスルト五箇年計畫遂行ノ曉ニ於キマシテ、所要ノ電氣ヲ供給スルコトガ出來ル見込ニナッテ居リマス、是モ著々進捗シテ居リマス、其ノ他農業部門ニ於キマシテ、是ハ主トシテ滿洲ノ農民ニ近代的ノ耕作ノ方法ヲ教ヘマシタリ、或ハ農事合作社ト云フモノヲ作りマシテ、此處デ以テ金融ノ途ヲ講ジ、又肥料ノ購入、竝ニ生産物ノ販賣

等ヲ全部組合組織ナル計畫ヲ立テマシテ、

農業部門ニ於キマシテハサウ云フ制度ヲ基

ト致シマシテ農産物ノ増産ヲ計畫シテ居リ

マス、ソレカラ畜産ノ方デアリマス、是亦

農耕用ノ馬等ガ非常ニ不足シテ居リマス、

殊ニ御承知ノ昨年カラ移民ノ大キナ計畫ガ

ゴザイマシテ、其ノ移民ガ年々北滿ノ方ヘ參

リマスト、農耕用ノ家畜ガ非常ニ必要ニナッ

テ來ル、其ノ準備ト致シマシテ馬ノ増産ト

云フコトモ計畫シテ居リマシテ、一部實行

ニ移ッテ居ルノデアリマス、尙御疑問ノ點ガ

アリマシタラ御答ヘ致シマス

○遠藤柳作君 石炭ニ多少ノ成績ノ擧ラヌ

點ガアッタヤウデアリマスガ、後ハ全部大體

順調ニ行ッテ居ルト云フコトゴ満足致シマ

シタ、大體計畫通り五箇年以後ニ於テハ完

成ノ見込デアリマスガ、ソレトモ斯ウ云フ

時局柄デアリマスカラ、寧ロ年度ヲ繰上ゲ

テ完成スル必要ガアルト考ヘラレマスガ、

色々ニ考ヘラレマスガ御所見ハ如何デアリ

マスカ

○政府委員(原邦道君) 只今ノ石炭ノ問題

デ當初ノ豫定通りニ參ラナカッタト申シマ

シタノハ、實ハ採掘致シマスル非常ニ大キ

ナ資金ヲ投ズル前ニ相當調査ヲシナケレバ

ナラスノデアリマス、其ノ調査ニ昨年ハ大分

時日ヲ要シマシタ結果、其ノ爲ニ石炭ノ産

額ガ餘リ多クナカッタト云フコトニ過ギナ

イノデアリマシテ、決シテ昨午出ナカッタ

爲ニ五箇年計畫ニ非常ニ支障ヲ來シタト云

フ點ハ聊カモナイノデアリマス、其ノ點ハ

御承知願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ五箇

年計畫ニ付キマシテ、之ヲ繰上ゲテヤル考

ハドウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ五

箇年計畫ヲ立テマシタノハ、支那事變ノ起

リマシタ以前デアリマシテ、事變勃發後ノ

情態、殊ニ日本ノ色々ナ産業狀態等ノ關係

ニ於テ、或部門ノ開發ト云フモノハ相當急

ガナケレバナラス事態ニナッテ居リマス、ソ

レニ付キマシテハ滿洲國ト帝國ト密接ナル

連絡ヲ取りマシテ、目下如何ニシテ増産計

畫ヲ繰上ゲテヤッテ行クカ、是ハ内地ノ例

ヘバ鐵デアルトカ石炭ト云フモノガ最モ大

事デアリマス

○遠藤柳作君 御説明ニ依リマシテ満足致

シマス、斯ウ云フ時節柄デアリマスカラ、

ドウカ一層力ヲ御入レニナリマシテ、出來

ルダケ早く完成セラレムコトヲ希望シテ置

キマス、尙引續キ御尋ヲ申上ゲマスガ、

滿洲帝國ノ國軍ノ現在ノ總員數竝ニ其ノ一

箇年間ニ於ケル滿洲國ノ國防費、更ニ又滿

洲國ノ治安維持ノ爲ニ、帝國ノ皇軍ト協力

シテ其ノ奮闘シテ居ル情況ト云フヤウナモ

ノノ御説明ヲ戴ケレバ幸ヒデアルト存ジマ

ス

○政府委員(原邦道君) 軍事關係ノ豫算ノ

事ニ付キマシテハ、其ノ點私カラ一應申上

ガテ置キマス、康徳五年度ノ一般會計ノ總

額ガ三億四百萬圓ニナッテ居リマス、其ノ中

デ治安部ノ歳出ガ一億一千百萬圓、斯ウ相

成ッテ居リマスガ、御承知ノヤウニ、元ハ軍

政部ト民政部ガアリ、軍政部豫算ト云フモ

ノガ昨年ハアッタノデアリマスガ、昨年ノ行

政機構ノ改革ニ依リマシテ、警察ト軍ノ方

フ一緒ニシマシテ治安部豫算ニナッタノデ

アリマス、之ニ依リマスルト、三億四百萬

圓ノ内、一億千百萬圓ガ治安部ノ經費ニナッ

テ居リマスルガ、是ガ警察ト國軍ノ方ニド

ウ云フ風ニナッテ居ルカト云フコトハ只今手

許ニ數字ヲ持ッテ居リマセヌ、ソレハ昨年ノ

豫算ニ依リマスルト、昨年ハ大體確カ三億

位ノ豫算デアッタノデアリマス、其ノ中デ軍

政部ノ豫算ガ約八千萬圓ト記憶シテ居リマ

ス、詳細ハソレハ内容ヲ記載致シマスレバ

數字ハ出ルト思ヒマスガ、只今其ノ數字ヲ

持ッテ居リマセヌカラ、御必要ナラバ後刻又

申上ゲマス

○遠藤柳作君 モウソレハ別ニ要リマセヌ

○政府委員(町尻量基君) 兵數其ノ他ニ關

係致シマスコトハ速記ヲ止メテ戴キタイト

思ヒマス

○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ止メテ

……

(速記中止)

○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ始メテ

……

○遠藤柳作君 滿洲國ノ國軍ガ段々ト訓練

改善セラレテ皇軍ト協力シテ滿洲國ノ治安

ノ維持ニ當リツ、アリマスコトハ誠ニ喜バ

シイコトト存ジマス、殊ニ斯ウ云フ事變下

ニ於キマシテ斯クノ如ク皇軍ニ協力ノ實ヲ

擧ゲツ、アルコトハ非常ニ御同慶ノ至リニ

堪ヘマセヌ、更ニ御尋ヲ致シマスガ、此ノ

滿洲國ノ國防費分擔金デアリマスガ、實ハ

私ハ嘗テ滿洲ニ責任ノアル地位ニアリマシ

タノデ、成ルベク滿洲ニ關スルコトヲ御尋

ネスルコトヲ差控ヘルノガ本當ト存ジマス

ガ、併シ衆議院ニ於キマスル此ノ委員會ノ

模様ヲ速記録デ見マスルト云フト、此ノ國

防費分擔金ニ付キマシテハ私共ノ考ト餘程

異ツタ觀點ニ於テノ質問ガ多イヤウニ思ハ

レマスノデ、此ノ委員會ニ於キマシテ一應

念ノ爲ニ御尋ニスル次第デアリマス、先刻

來此ノ委員會ニ於キマシテ御説明ヲ見マス

ルト云フト、昭和十三年度ニ滿洲國ガ負擔シマスル國防分擔金ハ一千九百五十一萬餘圓ト云フトニナツテ居リマス、是ハ日本ノ總豫算カラ見レバ誠ニ微々タル比率デアリマスガ、滿洲國ノ總豫算カラ見マスルト云フト相當ナ高度ノ比率ニナツテ居ルノハ申ス迄モゴザイマセス、先刻來政府委員ヨリソレハ御答辯ガアリマシタ通り、滿洲國ハ最近ニ於キマシテ非常ニ國費ノ支出ガ多イヤウニ思ハレマス、或ハ産業五箇年計畫、或ハ國軍ノ充實ノ費用、容易ナラヌ支出ト存ジマス、殊ニ此ノ國防ニ付キマシテハ總豫算ノ約三分ノ一ノ治安維持費ヲ計上シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、其ノ上ニ約二千萬近クノ分擔金ヲ負擔スルコトハ、私ハ實ハ容易デナイト思フ、最初此ノ國防分擔金ヲ決メマシタ時ニハ、共同國防精神ニ基キマシテ御互ヒニ責任ヲ分擔シ合フト云フ點カラ最初ハ七百餘萬圓分擔シタノデアリマスガ、爾來年々累進シマシテ今日ノ額ニナツタト思ヒマス、是ハ全然負擔シナイト云フヨリハ、共同ノ責任ヲ分擔スル上ニ於テ多少ノ負擔ヲスルコトハ是ハ必要デアリマセウ、尙事情等ダニ許スナラバ、多クノ負擔ヲシテ帝國ノ爲ニ更ニ一臂ノ力ヲ添ヘル、是ハ無論言フ迄モナイ次第デアリマ

スガ、私ハ滿洲國ハ暫クノ間ハ爲スベキコトガ多クテ出費ガ頗ル多イ、又入ルベキ金ハサウ多イモノデヤナイ、斯ウ考ヘマスノデアリマスカラ、衆議院方面ニ於キマシテ政府委員ニ對シ、モット國防分擔金ヲ増額セシメル意思ハアルカナイカト云フヤウナ御質問トハ全然觀點ヲ反對ニシテ、政府ハ多少ナリトモ此ノ分擔金ヲ輕減シテヤル意思ガアルカナイカ、此ノ事ヲ御尋ネシタイノデアリマス

○政府委員(原邦道君) 滿洲國國防分擔金

ハ、既ニ御承知デアリマセウガ、是ハ全然滿洲國ノ自發的ノ發意ニ出タモノデアリマシテ、帝國ト致シマシテハ、金額ノ多少ト云フトヨリモ、寧ロ其ノ滿洲國ガサウ云フ心持ヲ以テ國防分擔ヲ自發的ニ出シテ呉レル、ソレヲ日本トシマシテハ受入レテ居ルト云フ考方ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ國防分擔金ヲ滿洲國デ出シマス爲ニ、滿洲國ノ財政上非常ニ困ルヤウナ惡イ影響ヲ齎スヤウナコトハ是ハ日本政府トシテハ決シテ望ンデ居ラナイコトデアリマシテ、殊ニ産業五箇年計畫デアリマスルトカ、各種ノ國費多端ナ滿洲國、御承知ノ通りニ、此ノ五箇年間ニ斯クノ如キ滿洲國ノ發達ヲ來タシマシタル所以ノモノハ、相

當滿洲國ト致シマシテハ、財政上ノ負擔ヲシテ初メテ斯ウナツタノデアリマス、尙將來日滿一體ト云フ關係カラ、各種ノ施設ヲ我が帝國ノ爲ニモヤラナケレバナラヌコトガ多々滿洲國ニアルドラウト思フ、サウ云フ費用ノ多イト云フ時ニデス、之ヲ増額スルトカ云フヤウナコトハ、是ハ毛頭政府ノ根本ノ國防分擔金ニ對スル考方カラハ出テ來ナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、從ヒマシテ兩國ノ財政上最モ適當ナル金額ヲ將來國防分擔金ト云フモノハ受ケ入レラルベキデアラウト考ヘマス、即チ増額ト云フトハ無論我が政府トシテハ考ヘテ居リマセヌノミナラズ、滿洲國ノ財政上非常ニ困ルナラバ、其ノ點ハ十分寧ロ考ヘテヤラナクチヤナラヌヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○遠藤柳作君 大體私共ノ心持ト同ジヤウ

ナ御心持ノ御答辯デ、非常ニ満足致シマス、要スルニ日本ノ財政ニ取リマシテハ、僅カバカリノ分擔金ヲ分擔サスヨリモ、寧ロ其ノ金ヲ他ニ振り向ケテ方ガ一層有益デアリマイカトモ考ヘテ居リマス、例ヘバ民衆ノ負擔ノ輕減ヲ圖ツテヤル、或ハ又民衆ノ福利増進ヲ餘計ヤル、或ハ又産業五箇年計畫ノ爲ニ其ノ金ヲ餘計ヤル、色々ノ活キタ路

ハ色々アラウト思ヒマス、併シソレモ即刻之ヲドウ斯ウト云フ事情ニモナイト思ヒマスルカラ、ソレヲ強ヒテドウ斯ウ申上ゲルメデヤゴザイマセスガ、併シ政府トシテハ此ノ際此ノ分擔金ニ付テハ一層ノ御研究ヲ爲サル必要ガアルノデヤナイカト思ヒマス、ソコデ是ハ此ノ席デ斯ウ云フト申上ゲルコトハドウカト考ヘマスルケレドモ、何カノ御參考ニナルト思ヒマスルカラ申上ゲタイト思フノデアリマスルガ、實ハ二三年前ニ當貴族院ニ於キマスル或同僚カラ、當時ノ高橋大藏大臣ニ此ノコトヲ御尋シタ人ガアル筈デス、議會デハ高橋大藏大臣ヨリアツサリトシタ御答辯ガアツタヤウデアリマスルガ、其ノ後非公式ノ會見ノ際ニハ、自分ハツイ此ノ問題ハウツカリシテ居ツタ、是ハ容易ナラヌ問題デアル、是ハ何トカーツ考ヘテヤラニヤナラヌト云フトデアラレタサウデアリマスルガ、其ノ後不幸ニシテア、云フ御兇變ニ遭ハレマシテ、今既ニ故人空シデアリマス、私ハ個人ヲ此處ニ引合ヒニ出スコトハ御氣ノ毒ニ堪ヘヌコトデアリマス、流石ニ大政治家能ク此ノ點ヲ洞見シテ居ラレタト思ッテ居リマス、何カノ御參考ニナリマスレバ……此ノ上トモ政府ハ其ノ問題ニ付テ一段ノ御研究ヲ御願ヒスル次

第デアリマス、是デ私ノ質問ハ打切リマス

○委員長(公爵山縣有道君) 外ニ御質問ゴ

ザイマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 只今大變有益ナ御質

問デ、我々モ非常ニ得ル所ガ多ウゴザイマシタ、感謝スル次第デアリマスガ、其ノ中デ二三點不明ナ點ガアリマスノデ、小サイ問題デゴザイマスガ、此ノ機會ヲ利用シテ伺ッテ置キタイト思フノデスガ、五箇年計畫ニ付テ、石炭トカ、液體燃料トカ、色々御説明ガアリマシタガ、鐵ノ増産ニ付テハ何ニモ御説明ガナイノデスガ、其ノ計數ヲ伺ヒタイノデスガ、ドウ云フ風ニササルノデスカ

○政府委員(原邦道君) 鐵ノ増産ハ現在

……斯ウ云フ目標デ參ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレカラ農ノ近代化

ト云フコトヲ御話ガアリマスガ、此ノ農産物ハ「マーケット」ハ何處ヲ目指シテ居リマスカ、即チ滿洲デ消化サレルモノダケヲ御

作リニナリマスカ、ソレトモ輸出ノ方迄モ

見テ御出デニナリマスカ、物ニ依ッテモ違ヒマセウケレドモ、甚ダ漠トシタ質問デスガ、簡單ニサウ云フ質問ヲ致シマス、詳細ハドウゾソチラデ然ルベク御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(原邦道君) 矢張り輸出ノ方モ

考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ能ク私ノ

記憶シテ居リマス所デ申シマス、高粱デ

アリマストカ、玉蜀黍、是ガ實ハ我が國ノ

家畜ノ飼料ト致シマシテ、第三國……外國カラ非常ニ輸入ガ多イノデアリマス、從ヒマシテ毎年之ニ依リマシテ相當ノ金額ヲ外國ヘ拂フ、之ヲ出來ルベクンバ此ノ滿洲カラ取ッテ來タイト云フヤウナ考方ガ一つアルノデアリマス、ソレニ付キマシテ斯ウ云フ高粱ナリ、玉蜀黍ヲ十分増産シテ行ク、其ノ目的ハ結局其ノ増産シマシタモノヲ日本ニ輸出致シマシテ、日本ガ南米アタリカラ取ッテ居リマスルスクノ如キ飼料ヲ滿洲國産ニ置キ換ヘルト云フコトモ考ヘテ居リマス譯デアリマス、サウ云フ風ナ事情デアリマシテ、外國ニ輸出シマスモノ、殊ニ此ノ豆ニ付テ申シマスルト、是ハ主トシテ獨逸ニ參ルノデアリマス、是ナンカモ増産ノ結果獨逸ニ對シマスル輸出ヲ一層増加シヨウト云フ目標デ參ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ以外ノモノニ付

キマシテハ滿洲ヲ目標トシテヤッテ居ラレ

ルノデスカ、殊ニ伺ヒタイ點ハ、滿洲ノ農業ノ爲ニ日本ノ農業ガ壓迫サレルヤウナコトガアッテハ却テ何ニモナラヌコトニナリ

マス、復厄介問題ヲ生ジテ來マスガ、大體

滿洲ノ需要ノ程度ニ止メルト斯ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(原邦道君) 日本ノ此ノ農業ヲ

壓迫スルヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ十

分考慮シテ、滿洲國ノ農業政策ヲ決定サセ

ナクチヤイカヌ、手取早ク問題トナリマス

ルノガ米デゴザイマス、米ヲ……殊ニ日本ノ移民ガ參リマシタガ、米ヲドウ云フ風ニ作ラセルカト云フコトガ是非問題デアリマス、之ニ付キマシテハ大體ノ方針ハ、米ノ如キモノハ滿洲デ消費シマスルモノ以外ニハ作ラセナイ、即チ其ノ滿洲デ作リマシタ米ニ依ッテ日本ノ米ヲ壓迫スルヤウナコトハサセマイト云フヤウナ考方デ行ッテ居リマス、尙其ノ米ニ付キマシテハ將來相當モウ少シシッカリシタ制度ヲ樹テル計畫デ目下研究シテ居ル筈デアリマス

○子爵大河内輝耕君 電氣モ大分擴張ニナ

リマスガ、是モ滿洲デ是ダケノモノガ使ヒ

切レルト云フ御見込ナノデスカ

○政府委員(原邦道君) 左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 チョット速記ヲ止メ

テ……

○委員長(公爵山縣有道君) 速記開始……

前回大河内子爵カラ大藏省當局ニ御質問ニ

ナリマシタコトニ對スル御答辯ガ御出來ニ

ナリマシタカラ、是カラ御願ヒ致シマス

○政府委員(關原忠三君) 先日大河内子爵

ノ御質問ハ、日露戰爭當時ト現在トノ我ガ

國ノ經濟力ノ比較ラスベキ具體的ノ數字ヲ

知リタイト云フヤウナ御質問デゴザイマシ

タ、御承知ノヤウニ或時代ト或時代トノ經濟力ノ比較、若シクハ時代ガ同ジデゴザイマシテモ、或國ト或國トノ經濟力ノ比較ニ付キマシテハ色々研究サレテ居ルノデゴザイマスガ、ドウ云フ項目ヲ採ッテ、ソレヲドウ云フ風ニ比較シテ行カナケレバナラヌカト云フコトニ付キマシテハ、御説ノヤウニ色々議論モゴザイシ、又背景トナッテ居リマスモノノ問題モゴザイマシテ、ナカノムヅカシイ問題デゴザイマスノデ、極ク主ナルモノヲ茲ニ比較致シテ見マシテ、御參考ニ供シタイト考ヘマス、大體ソレヲ四ツ

バカリニ大別シテ見タノデアリマスガ、第一ハ郵便貯金ト銀行預金デゴザイマス、此ノ郵便貯金ト銀行預金ヲ明治三十六年ト昭和十一年ノ各年末現在デ比較ヲ致シテ見マシタ、尤モ此ノ郵便貯金ノ中ニハ振替貯金ハ入レナイノガ至當ト認メマシテ入

(速記中止)

レマセヌデシタ、ソレカラ銀行預金ノ中ニハ矢張り日本銀行預金ハ入レナイ方ガ宜カラウト思ヒマシテ入レマセヌデシタ、明治三十六年ニハ七億九千二萬五千圓デアリマシタモノガ、昭和十一年ニハ二百二億六千四百八十八萬九千圓トナツテ居ルノデアリマス、即チ此ノ間ニ於テ二五・六五倍トナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ハ拂込資本金デゴザイマスガ、是ガ明治三十六年當時ニハ、九億二千百十萬六千圓デアリマシタモノガ、百七十三億八千七百八十四萬三千圓ニナツテ居リマシテ、丁度一八・八八倍ノ割合デゴザイマス、第三ハ手形交換高デゴザイマスガ、是ハ明治三十六年ニハ三十五億九千四百二十四萬七千圓デアリマシタモノガ、昭和十一年ニハ七百四十八億二千五百七十一萬二千圓ニナツテ居リマシテ、丁度二〇・八二倍ノ割合ニナリマス、第四ハ貿易額デゴザイマス、輸出入ヲ合シタモノデアリマスガ、明治三十六年ニハ、六億二千八百七十二萬六千圓デアリマシタノガ、昭和十一年ニハ五十七億二千四百三十三萬圓トナリマシテ、九・一〇倍トナツテ居ルノデアリマス、尙其ノ他ニ色々ノ項目ガゴザイマセウト思ヒマスガ、是等ノモノヲ色々ニ之ニ對シマシテ價值付ケマシテ、我ガ國經

濟力發展ノ状態ヲ考察シテ見ル外ナカラウト思ヒマス

○委員長(公爵山縣有道君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ……、如何デゴザイマスカ、本日ハ此ノ程度ニ會議ヲ止メタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵山縣有道君) 次回ハ五日午前十時カラ開會致シマス、散會致シマス

午前十時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵山縣 有道君
副委員長 子爵高橋 是賢君
委員 侯爵淺野 長之君
伯爵後藤 一藏君
子爵大河内輝耕君
子爵綾小路 護君
柴田善三郎君
男爵今園 國貞君
男爵松尾 義夫君
男爵長 基連君
遠藤 柳作君
土方 久徵君
内藤 久寛君
江口 定條君

國務大臣

商工大臣 吉野 信次君

政府委員

對滿事務局次長 原 邦道君

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏書記官 入江 昂君

陸軍少將 町尻 量基君

商工書記官 波江野 繁君

貿易局長官 寺尾 進君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

名取 忠愛君
三橋 彌君

昭和十三年三月二日印刷

昭和十三年三月三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局